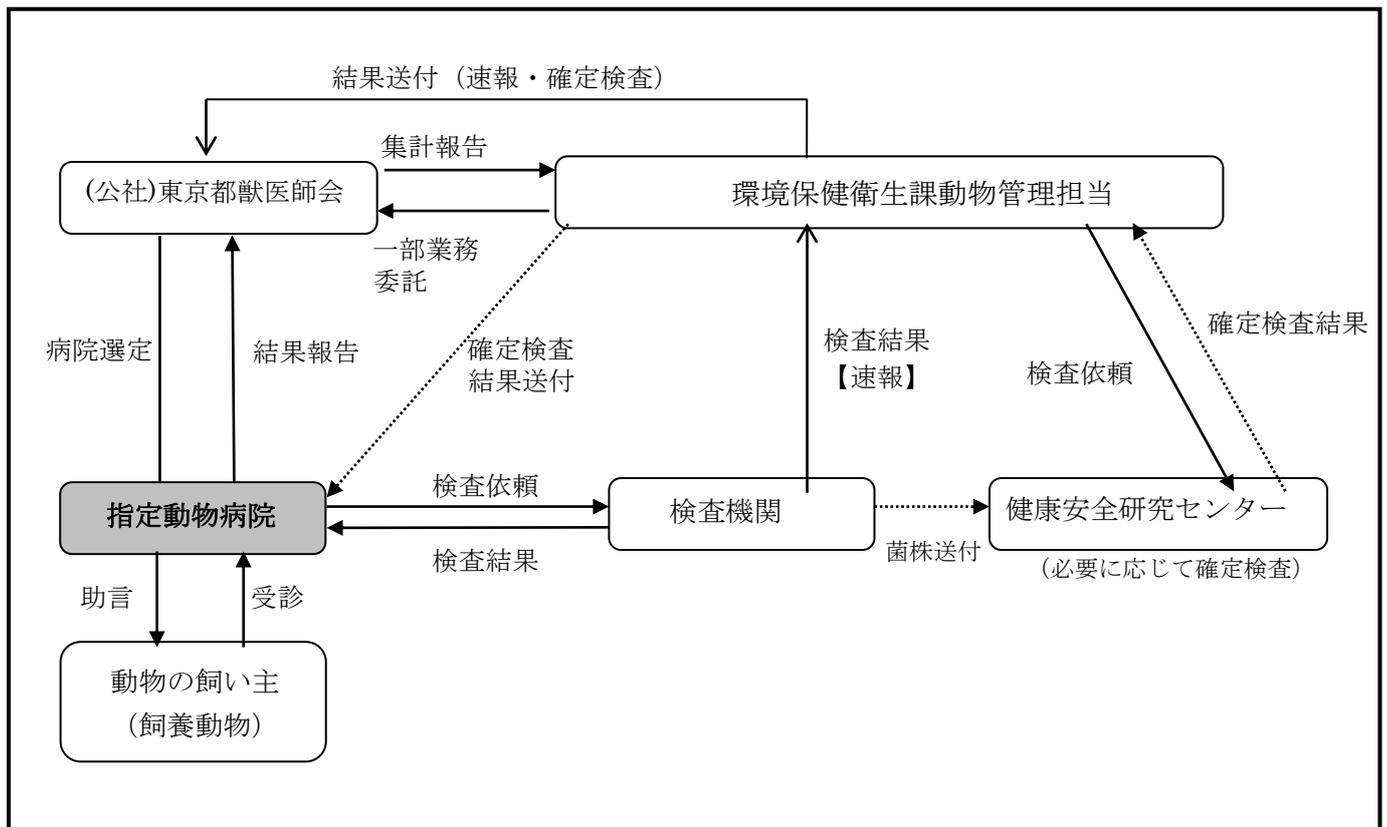


令和元年度動物病院における動物由来感染症モニタリング事業結果

1 目的

動物由来感染症の動物での発生状況を把握するため、動物病院における感染症の診断状況を集約し、動物由来感染症の人への感染を防止するための必要な措置を講じることを目的とした。

2 事業概要



1 モニタリング調査

【実施期間】 平成31年4月から令和2年3月まで

【調査対象動物】 指定動物病院を受診した犬・猫

【調査対象とする動物由来感染症】

犬	猫
皮膚糸状菌	皮膚糸状菌
疥癬	疥癬
回虫症	回虫症
ジアルジア症	ジアルジア症
瓜実条虫症	瓜実条虫症
犬糸状虫症	犬糸状虫症
犬ブルセラ症	トキソプラズマ症

【調査方法】 指定動物病院20病院における、月ごとの診察頭数及び調査項目に感染していると診断した頭数の報告を受ける。

2 サンプルング調査

【実施期間】 平成31年4月から令和2年3月まで

【調査対象及び検体数】 指定動物病院のうち病原体定点6病院において、飼い主から了承を得られた犬及び猫の鼻汁 計168検体

【調査対象とする病原体及び調査方法】

検査項目	調査方法
コリネバクテリウム・ウルセランス	分離培養法

【調査方法】 病原体定点から検査機関に、検査を依頼し、検査結果の報告を受ける。

3 調査結果

(1) モニタリング調査

平成31年4月から令和2年3月まで、指定動物病院20病院を受診した犬、猫112,473頭について調査を行った。内訳は次のとおりである。

- ・ 犬 76,584頭（区部：50,694頭、多摩部：25,890頭）
- ・ 猫 35,889頭（区部：25,052頭、多摩部：10,837頭）

ア 犬の診断状況

受診した犬76,584頭のうち、50頭(0.07%)についてモニタリング対象の感染症と診断された。各疾病の内訳は、表1のとおりである。

表1 犬の診断状況

調査期間	受診頭数	陽性頭数（括弧内は陽性率）						
		皮膚糸状菌症	疥癬	犬糸状虫症	回虫症	ジアルジア症	瓜実条虫症	犬ブルセラ症
4月	8,394	0	0	0	0	3 (0.04%)	0	0
5月	8,214	1 (0.01%)	0	1 (0.01%)	1 (0.01%)	5 (0.06%)	0	0
6月	7,281	3 (0.04%)	0	0	0	2 (0.03%)	0	0
7月	6,823	2 (0.03%)	0	2 (0.03%)	1 (0.01%)	2 (0.03%)	1 (0.01%)	0
8月	6,638	2 (0.03%)	0	0	0	3 (0.05%)	0	0
9月	6,243	0	0	0	0	1 (0.02%)	2 (0.03%)	0
10月	6,010	1 (0.02%)	1 (0.02%)	0	1 (0.02%)	0	0	0

調査期間	受診頭数	陽性頭数（括弧内は陽性率）						
		皮膚糸状菌症	疥癬	犬糸状虫症	回虫症	ジアルジア症	瓜実条虫症	犬ブルセラ症
11月	5,814	2 (0.03%)	1 (0.02%)	0	0	1 (0.02%)	1 (0.02%)	0
12月	5,798	0	0	0	0	1 (0.02%)	0	0
1月	4,784	2 (0.04%)	0	0	2 (0.04%)	1 (0.02%)	0	0
2月	5,408	1 (0.02%)	0	0	1 (0.02%)	1 (0.02%)	0	0
3月	5,177	2 (0.04%)	0	1 (0.02%)	0	1 (0.02%)	0	0
区部計	50,694	14 (0.03%)	1 (0.002%)	0	5 (0.01%)	17 (0.03%)	4 (0.008%)	0
多摩部計	25,890	2 (0.008%)	0	4 (0.02%)	1 (0.004%)	2 (0.008%)	0	0
総計	76,584	16 (0.02%)	1 (0.001%)	4 (0.005%)	6 (0.008%)	19 (0.02%)	4 (0.005%)	0
(参考) 30年度計	77,211	13 (0.02%)	4 (0.01%)	0	7 (0.01%)	13 (0.02%)	8 (0.01%)	0

イ 猫の診断状況

受診した猫 35,889頭のうち、77頭(0.21%)についてモニタリング対象の感染症と診断された。各疾病の内訳は、表2のとおりである。

表2 猫の診断状況

調査期間	受診頭数	陽性頭数（括弧内は陽性率）						
		皮膚糸状菌症	疥癬	犬糸状虫症	回虫症	ジアルジア症	瓜実条虫症	トキンプラズマ症
4月	2,830	0	0	0	2 (0.07%)	0	0	0
5月	2,863	0	1 (0.03%)	0	3 (0.10%)	0	2 (0.07%)	0
6月	2,951	1 (0.03%)	0	0	5 (0.17%)	0	2 (0.07%)	0
7月	3,098	3 (0.10%)	0	0	2 (0.06%)	0	0	0
8月	3,089	3 (0.10%)	0	0	6 (0.19%)	0	0	0
9月	2,978	3 (0.10%)	1 (0.03%)	0	2 (0.07%)	0	1 (0.03%)	0

調査期間	受診頭数	陽性頭数（括弧内は陽性率）						
		皮膚糸状菌症	疥癬	犬糸状虫症	回虫症	ジアルジア症	瓜実条虫症	トキンプラズマ症
10月	3,007	1 (0.03%)	0	0	5 (0.17%)	0	3 (0.10%)	0
11月	3,078	1 (0.03%)	0	0	1 (0.03%)	0	1 (0.03%)	0
12月	3,287	5 (0.15%)	0	0	3 (0.09%)	0	1 (0.03%)	0
1月	2,729	4 (0.15%)	0	0	3 (0.11%)	3 (0.11%)	0	0
2月	3,025	0	0	0	0	0	3 (0.10%)	0
3月	2,954	6 (0.20%)	0	0	0	0	0	0
区部計	25,052	20 (0.08%)	2 (0.008%)	0	25 (0.10%)	3 (0.01%)	8 (0.03%)	0
多摩部計	10,837	7 (0.06%)	0	0	7 (0.06%)	0	5 (0.05%)	0
総計	35,889	27 (0.08%)	2 (0.006%)	0	32 (0.09%)	3 (0.008%)	13 (0.04%)	0
(参考) 30年度計	41,297	38 (0.09%)	6 (0.01%)	1 (0.002%)	53 (0.13%)	3 (0.007%)	10 (0.02%)	1 (0.002%)

(2) サンプルング調査

平成31年4月から令和2年3月までの計117検体（犬：53検体、猫：64検体）について調査した。内訳は次のとおりである。

- ・ 犬 53頭（区部：39頭、多摩部：14頭）
- ・ 猫 64頭（区部：41頭、多摩部：23頭）

調査した犬53頭からサンプルング調査対象の菌は検出されなかった。猫については、調査した64頭のうち、1頭（4.3%）についてサンプルング調査対象の菌が検出された。内訳は、表3のとおりである。

表3 犬・猫のサンプルング調査結果

対象動物	地域	検体数	陽性検体数（陽性率）
			コリネバクテリウム・ウルセランス
犬	区部	39	0
	多摩部	14	0
	総計	53	0

猫	区部	41	0
	多摩部	23	1 (4.3%)
	総計	64	0